



2018年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年5月10日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2270 URL <http://www.meg-snow.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 渡辺 滋 TEL 03-3226-2124
 定時株主総会開催予定日 2018年6月27日 配当支払開始予定日 2018年6月7日
 有価証券報告書提出予定日 2018年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2018年3月期の連結業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	596,158	1.4	19,363	3.3	20,996	3.6	13,386	3.1
2017年3月期	587,935	1.7	18,753	33.9	20,269	42.5	12,988	△13.7

（注）包括利益 2018年3月期 14,516百万円（△4.4%） 2017年3月期 15,180百万円（24.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年3月期	197.36	—	9.0	6.0	3.2
2017年3月期	191.48	—	9.5	5.9	3.2

（参考）持分法投資損益 2018年3月期 837百万円 2017年3月期 585百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	352,905	157,338	43.9	2,286.11
2017年3月期	341,507	145,485	41.9	2,110.80

（参考）自己資本 2018年3月期 155,021百万円 2017年3月期 143,179百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年3月期	22,817	△11,799	△12,904	14,076
2017年3月期	29,934	△14,408	△14,376	15,940

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年3月期	—	—	—	40.00	40.00	2,713	20.9	2.0
2018年3月期	—	—	—	40.00	40.00	2,712	20.3	1.8
2019年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00		20.1	

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	308,000	1.5	9,700	△12.4	10,000	△15.1	7,100	△1.2	104.70
通期	605,000	1.5	19,000	△1.9	20,000	△4.7	13,500	0.9	199.09

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2018年3月期	70,751,855株	2017年3月期	70,751,855株
2018年3月期	2,941,743株	2017年3月期	2,919,856株
2018年3月期	67,825,318株	2017年3月期	67,834,753株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は決算短信に添付しております。

当社は、2018年5月10日（木）にアナリスト、機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. 補足情報	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期のわが国経済は、景気は緩やかに回復しており、今後もその継続が期待される一方で、海外経済の不確実性や、金融資本市場を中心とした不安定な状況に対する懸念があります。

個人消費は雇用・所得環境が改善する中で持ち直しており、食品業界においては、節約の動きが継続してみられる一方で、機能を訴求した商品を求める動きも強まるなど、消費者の価値観が多様化する中で様々な需要が生まれております。

このような経営環境下、当社グループは「グループ中期経営計画2019」に基づき、収益基盤の複数化およびキャッシュ・フローの最大化に取り組み、機能性ヨーグルトなどの高付加価値商品およびチーズなどの主力商品の販売拡大にともなうプロダクトミックスの改善、ならびにニュートリション事業分野における新市場への展開拡大などによる、将来の成長に向けた収益基盤の強化等に努めました。

以上の結果、当連結会計年度の連結経営成績につきましては、売上高596,158百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益19,363百万円（前年同期比3.3%増）、経常利益20,996百万円（前年同期比3.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、13,386百万円（前年同期比3.1%増）となりました。また、2018年3月末では、子会社33社および関連会社15社となっております。

なお、当連結会計年度より、SBSフレック株式会社は重要性が増したため、持分法適用関連会社としております。

セグメントごとの当連結会計年度の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては外部顧客に対する金額を記載しております。

①乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は239,746百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は12,132百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

売上高は、油脂は市場の低迷が続きました。バターは安定供給に引き続き取り組みました。チーズは市場が伸長する中で、プロモーション活動の効果により6Pチーズやさけるチーズを中心に好調に推移したこと、機能性食品は特定保健用食品の毎日骨ケアMBPがマーケティング投資により伸長したことなどから、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、宣伝促進費や原材料コストは増加しましたが、チーズの販売が拡大したことなどから増益となりました。

②飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は275,499百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は4,761百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

売上高は、ヨーグルトは当社保有の乳酸菌「ガセリ菌SP株」の機能訴求に継続して取り組んだことから堅調に推移した一方で、飲料は市場低迷の影響により減少したことなどから、当セグメント全体では微減収となりました。

営業利益は、ロジスティクス費用は増加しましたが、機能性ヨーグルトの販売が拡大したことなどから増益となりました。

③飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売が含まれております。

売上高は44,718百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は1,350百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

当期は、牧草・飼料作物種子の販売増加および、配合飼料の販売価格の上昇等の影響により、増収増益となりました。

④その他

当セグメントには、不動産賃貸、共同配送センター事業等が含まれております。

売上高は36,194百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は1,139百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末と比較して11,397百万円の増加となりました。
これは主に、たな卸資産や投資有価証券、受取手形及び売掛金が増加したことなどによります。

(負債の部)

当連結会計年度末の負債合計は前連結会計年度末と比較して455百万円の減少となりました。
これは主に、支払手形及び買掛金や未払金が増加した一方で、借入金や未払法人税等が減少したことなどによります。

(純資産の部)

当連結会計年度末の純資産合計は前連結会計年度末と比較して11,852百万円の増加となりました。
これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物は、14,076百万円となりました。
当連結会計年度における活動毎のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2016.4.1～ 2017.3.31)	当連結会計年度 (2017.4.1～ 2018.3.31)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,934	22,817	△7,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,408	△11,799	2,608
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,376	△12,904	1,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	21	28
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	1,143	△1,864	△3,008
現金及び現金同等物の期首残高	14,797	15,940	1,143
現金及び現金同等物の期末残高	15,940	14,076	△1,864

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、22,817百万円の収入(前連結会計年度は29,934百万円の収入)となりました。

前連結会計年度との比較では、主に法人税等の支払額が減少した一方で、たな卸資産の増減額が増加したことなどにより、7,117百万円の収入減となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、11,799百万円の支出(前連結会計年度は14,408百万円の支出)となりました。

前連結会計年度との比較では、主に有形及び無形固定資産の取得による支出が減少した一方で、有形及び無形固定資産の売却による収入が減少したことなどにより、2,608百万円の支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、12,904百万円の支出(前連結会計年度は14,376百万円の支出)となりました。

前連結会計年度との比較では、主に長期借入金の返済による支出が減少した一方で、短期借入金の純増減額や長期借入による収入が減少、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出や配当金の支払額が増加したことなどにより、1,472百万円の支出減となりました。

当企業集団のキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

決算年月	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
自己資本比率 (%)	37.8	41.9	43.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	55.8	60.9	55.3
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	3.6	2.8	3.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	28.7	42.8	42.2

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利息の支払額

- (注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としております。

(3) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復の継続が期待されるものの、先行きは未だ不透明なまま推移することが予想されます。当社を取り巻く環境は、国内・外の乳資源需給や為替相場が大きく変動する可能性、原材料のコストアップなどにより、厳しい状況にあります。一方個人消費は持ち直しが続くことが期待され、消費者の価値観の多様化にともない、機能や効能などを高めた商品を求める動きも強まっております。

このような状況において、当社は「グループ中期経営計画2019」に基づき、2019年度の目標値である連結営業利益220億円の達成に向けて、マーケティング投資の継続、高付加価値商品や主力商品の積極的な販売の拡大などにより、将来の成長に向けた収益基盤の強化に引き続き取り組んでまいります。また、原材料コスト、オペレーションコスト、固定経費等の増加に対応するため、価格改定等を実施致します。

以上により、2019年3月期の連結業績見通しは、売上高605,000百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益19,000百万円（前年同期比1.9%減）、経常利益20,000百万円（前年同期比4.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益13,500百万円（前年同期比0.9%増）としております。

また、セグメントごとの通期売上見通しは、乳製品244,000百万円（前年同期比1.8%増）、飲料・デザート類280,000百万円（前年同期比1.6%増）、飼料・種苗44,000百万円（前年同期比1.6%減）、その他37,000百万円（前年同期比2.2%増）としております。なお、上記セグメントごとの通期売上見通しは、外部顧客に対する金額を記載しております。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益創出による財務の健全性の確立、キャッシュを創出する基盤インフラへの再投資による資本効率の維持、ならびに株主への利益還元の充実を図っていくことを利益配分の基本方針としております。

配当につきましては、連結配当性向20%以上を目処に、連結業績や財務状況等を総合的に勘案して、安定的な配当の継続に努めてまいります。

2018年3月期につきましては、上記の配当に関する方針に基づき、当初の予定どおり1株あたり40円といたしました。

なお、剰余金配当の支払開始日は2018年6月7日となります。

また、次期の剰余金の配当につきましては、上記の基本方針に基づき、1株当たり40円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,657	14,620
受取手形及び売掛金	65,063	69,302
商品及び製品	35,021	39,632
仕掛品	905	1,423
原材料及び貯蔵品	12,524	12,857
繰延税金資産	4,556	4,384
未収入金	2,224	2,506
その他	2,247	2,187
貸倒引当金	△535	△405
流動資産合計	138,665	146,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,647	99,486
減価償却累計額	△48,686	△50,799
減損損失累計額	△508	△648
建物及び構築物（純額）	45,452	48,039
機械装置及び運搬具	177,199	182,238
減価償却累計額	△118,237	△124,003
減損損失累計額	△2,039	△2,138
機械装置及び運搬具（純額）	56,921	56,095
工具、器具及び備品	16,683	17,394
減価償却累計額	△12,829	△13,307
減損損失累計額	△62	△66
工具、器具及び備品（純額）	3,791	4,020
土地	50,057	50,396
リース資産	9,608	8,900
減価償却累計額	△3,463	△3,255
減損損失累計額	△222	△225
リース資産（純額）	5,921	5,419
建設仮勘定	2,451	822
有形固定資産合計	164,596	164,794
無形固定資産		
リース資産	42	22
ソフトウェア	4,126	3,115
施設利用権	648	736
その他	111	46
無形固定資産合計	4,929	3,921
投資その他の資産		
投資有価証券	26,015	29,326
長期前払費用	509	553
退職給付に係る資産	781	1,519
繰延税金資産	2,126	2,139
その他	4,642	4,744
貸倒引当金	△759	△604
投資その他の資産合計	33,316	37,678
固定資産合計	202,842	206,395
資産合計	341,507	352,905

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,313	60,475
電子記録債務	3,572	4,021
短期借入金	20,900	19,774
1年内返済予定の長期借入金	8,506	22,052
リース債務	937	1,121
未払金	9,661	13,467
未払法人税等	2,902	2,259
未払費用	7,742	7,900
預り金	632	385
繰延税金負債	4	—
賞与引当金	5,285	5,208
その他	4,601	4,003
流動負債合計	121,060	140,670
固定負債		
長期借入金	47,304	27,089
長期預り金	5,052	5,173
リース債務	5,940	5,013
繰延税金負債	1,093	2,317
再評価に係る繰延税金負債	3,982	3,981
役員退職慰労引当金	137	20
ギフト券引換引当金	203	190
退職給付に係る負債	8,229	8,667
資産除去債務	2,284	1,699
その他	734	744
固定負債合計	74,961	54,896
負債合計	196,022	195,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,583	17,585
利益剰余金	97,336	108,186
自己株式	△4,571	△4,643
株主資本合計	130,348	141,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,400	6,322
繰延ヘッジ損益	△199	△163
土地再評価差額金	8,954	8,951
為替換算調整勘定	250	382
退職給付に係る調整累計額	△1,574	△1,600
その他の包括利益累計額合計	12,831	13,892
非支配株主持分	2,306	2,317
純資産合計	145,485	157,338
負債純資産合計	341,507	352,905

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	587,935	596,158
売上原価	446,164	452,218
売上総利益	141,770	143,940
販売費及び一般管理費		
販売費	105,905	106,899
一般管理費	17,112	17,677
販売費及び一般管理費合計	123,017	124,577
営業利益	18,753	19,363
営業外収益		
受取利息	18	20
受取配当金	758	874
持分法による投資利益	585	837
その他	1,468	991
営業外収益合計	2,830	2,724
営業外費用		
支払利息	672	538
その他	642	552
営業外費用合計	1,314	1,091
経常利益	20,269	20,996
特別利益		
固定資産売却益	294	127
投資有価証券売却益	13	53
その他	73	14
特別利益合計	381	196
特別損失		
固定資産売却損	55	110
固定資産除却損	1,127	1,221
減損損失	1,017	488
その他	583	305
特別損失合計	2,784	2,126
税金等調整前当期純利益	17,866	19,066
法人税、住民税及び事業税	5,741	4,714
法人税等調整額	△885	955
法人税等合計	4,856	5,669
当期純利益	13,009	13,396
非支配株主に帰属する当期純利益	21	10
親会社株主に帰属する当期純利益	12,988	13,386

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
当期純利益	13,009	13,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	938	916
繰延ヘッジ損益	290	35
為替換算調整勘定	△73	131
退職給付に係る調整額	1,024	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	36
その他の包括利益合計	2,170	1,119
包括利益	15,180	14,516
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	15,162	14,504
非支配株主に係る包括利益	18	12

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	17,580	86,269	△4,554	119,295
当期変動額					
土地再評価差額金の取崩			113		113
剰余金の配当			△2,035		△2,035
親会社株主に帰属する当期純利益			12,988		12,988
自己株式の取得				△16	△16
自己株式の処分		0		0	0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		2			2
持分法の適用範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2	11,066	△16	11,053
当期末残高	20,000	17,583	97,336	△4,571	130,348

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,465	△489	9,067	324	△2,597	10,770	2,335	132,401
当期変動額								
土地再評価差額金の取崩								113
剰余金の配当								△2,035
親会社株主に帰属する当期純利益								12,988
自己株式の取得								△16
自己株式の処分								0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								2
持分法の適用範囲の変動								—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	934	290	△113	△73	1,022	2,060	△29	2,030
当期変動額合計	934	290	△113	△73	1,022	2,060	△29	13,083
当期末残高	5,400	△199	8,954	250	△1,574	12,831	2,306	145,485

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	17,583	97,336	△4,571	130,348
当期変動額					
土地再評価差額金の取崩					—
剰余金の配当			△2,713		△2,713
親会社株主に帰属する当期純利益			13,386		13,386
自己株式の取得				△73	△73
自己株式の処分		2		2	4
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
持分法の適用範囲の変動			177		177
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	2	10,849	△71	10,780
当期末残高	20,000	17,585	108,186	△4,643	141,128

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,400	△199	8,954	250	△1,574	12,831	2,306	145,485
当期変動額								
土地再評価差額金の取崩								—
剰余金の配当								△2,713
親会社株主に帰属する当期純利益								13,386
自己株式の取得								△73
自己株式の処分								4
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								—
持分法の適用範囲の変動								177
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	922	35	△3	131	△25	1,061	11	1,072
当期変動額合計	922	35	△3	131	△25	1,061	11	11,852
当期末残高	6,322	△163	8,951	382	△1,600	13,892	2,317	157,338

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	17,866	19,066
減価償却費	15,140	15,157
減損損失	1,017	488
持分法による投資損益(△は益)	△585	△837
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△285
賞与引当金の増減額(△は減少)	730	△78
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△781	△740
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	328	436
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△11	△13
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△116	△117
固定資産除売却損益(△は益)	889	1,203
受取利息及び受取配当金	△777	△895
支払利息	672	538
売上債権の増減額(△は増加)	275	△4,175
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,979	△5,402
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,301	4,566
その他	1,705	△1,501
小計	39,028	27,409
利息及び配当金の受取額	918	1,187
利息の支払額	△699	△540
法人税等の支払額	△9,313	△5,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,934	22,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△126	△90
定期預金の払戻による収入	112	262
貸付けによる支出	△293	△371
貸付金の回収による収入	225	410
有形及び無形固定資産の取得による支出	△15,647	△12,222
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,312	435
投資有価証券の取得による支出	△25	△32
投資有価証券の売却による収入	37	156
その他	△3	△347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,408	△11,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,970	△1,125
長期借入れによる収入	6,150	2,500
長期借入金の返済による支出	△21,414	△9,169
自己株式の取得による支出	△16	△73
配当金の支払額	△2,036	△2,712
非支配株主への配当金の支払額	△2	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△42	△1,410
その他	△984	△911
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,376	△12,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,143	△1,864
現金及び現金同等物の期首残高	14,797	15,940
現金及び現金同等物の期末残高	15,940	14,076

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「助成金収入」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行なっております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「助成金収入」502百万円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「寄付金」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「営業外費用」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行なっております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「寄付金」168百万円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、「特別利益」の「その他」に含めて表示しておりました「投資有価証券売却益」は金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行なっております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別利益」の「その他」87百万円は、「投資有価証券売却益」13百万円、「その他」73百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「助成金収入」、および「助成金の受取額」は金額的重要性が乏しくなったため、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行なっております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「助成金収入」△502百万円および「助成金の受取額」505百万円は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」として組み替えております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社グループは、主たる事業として、乳（ミルク）等を使用した製品の製造・販売および牛用飼料、牧草・飼料作物種子等の製造・販売を行なっており、チーズ・バター等の「乳製品」および牛乳・ヨーグルト等の「飲料・デザート類」については主に当社が、「飼料・種苗」については主に雪印種苗(株)が行なっております。

したがって、当社グループは、製品別のセグメントから構成されており、「乳製品」、「飲料・デザート類」および「飼料・種苗」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	232,386	277,477	43,008	552,872	35,063	587,935	—	587,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,568	30	946	14,545	12,190	26,736	△26,736	—
計	245,954	277,507	43,955	567,417	47,254	614,672	△26,736	587,935
セグメント利益	11,714	4,623	1,255	17,593	1,101	18,694	58	18,753
セグメント資産	148,671	132,993	34,096	315,761	31,469	347,231	△5,723	341,507
その他の項目								
減価償却費 (注) 4	7,162	6,619	864	14,646	611	15,257	△116	15,140
減損損失	602	—	—	602	9	612	405	1,017
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 5	5,398	5,317	1,583	12,300	3,533	15,833	△46	15,787

当連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	239,746	275,499	44,718	559,964	36,194	596,158	—	596,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,661	46	887	14,595	12,608	27,204	△27,204	—
計	253,408	275,545	45,605	574,560	48,802	623,363	△27,204	596,158
セグメント利益	12,132	4,761	1,350	18,244	1,139	19,383	△20	19,363
セグメント資産	155,388	138,019	35,967	329,375	32,737	362,112	△9,207	352,905
その他の項目								
減価償却費(注) 4	7,145	6,248	906	14,300	968	15,269	△112	15,157
減損損失	—	—	126	126	140	266	222	488
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 5	6,089	8,571	1,051	15,711	1,372	17,084	△139	16,944

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業および共同配送センター事業等が含まれております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

売上高

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△26,736	△27,204
合計	△26,736	△27,204

セグメント利益

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	58	△20
合計	58	△20

セグメント資産

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間債権債務消去等	△15,513	△17,094
全社資産※	9,789	7,886
合計	△5,723	△9,207

※全社資産は、主に当社の余資運用資金および遊休資産であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

4. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額が含まれております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
1株当たり純資産額	2,110.80円	2,286.11円
1株当たり当期純利益金額	191.48円	197.36円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	145,485	157,338
純資産の部の合計額から 控除する金額 (百万円)	2,306	2,317
(うち非支配株主持分) (百万円)	(2,306)	(2,317)
普通株式に係る当連結会計年度 末の純資産額 (百万円)	143,179	155,021
1株当たり純資産額の算定に用いられた 当連結会計年度末の普通株式の数 (株)	67,831,999	67,810,112

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	12,988	13,386
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額 (百万円)	12,988	13,386
期中平均株式数 (株)	67,834,753	67,825,318

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 前期比較

① 連結損益計算書

(単位：億円)

	2017年3月期		2018年3月期		増減	
	実績	売上比	実績	売上比	金額	対前期増減率
売上高	5,879	100.0%	5,961	100.0%	82	1.4%
売上原価	4,461	75.9%	4,522	75.9%	60	1.4%
販売費及び一般管理費	1,230	20.9%	1,245	20.9%	15	1.3%
営業利益	187	3.2%	193	3.2%	6	3.3%
営業外収益	28	0.5%	27	0.5%	△1	△3.8%
営業外費用	13	0.2%	10	0.2%	△2	△17.0%
経常利益	202	3.4%	209	3.5%	7	3.6%
特別利益	3	0.1%	1	0.0%	△1	△48.6%
特別損失	27	0.5%	21	0.4%	△6	△23.6%
税金等調整前当期純利益	178	3.0%	190	3.2%	12	6.7%
法人税等	48	0.8%	56	1.0%	8	16.7%
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0.0%	0	0.0%	△0	△49.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	129	2.2%	133	2.2%	3	3.1%

② 連結包括利益計算書

(単位：億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減	
	実績	実績	金額	対前期増減率
当期純利益	130	133	3	3.0%
その他の包括利益合計	21	11	△10	△48.4%
包括利益	151	145	△6	△4.4%
(内、非支配株主に係る包括利益)	0	0	△0	△33.0%

③ 連結セグメント別実績

(単位：億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減	
	実績	実績	金額	対前期増減率
[売上高]				
乳製品	2,323	2,397	73	3.2%
飲料・デザート類	2,774	2,754	△19	△0.7%
飼料・種苗	430	447	17	4.0%
その他	350	361	11	3.2%
合計	5,879	5,961	82	1.4%
[営業利益]				
乳製品	117	121	4	3.6%
飲料・デザート類	46	47	1	3.0%
飼料・種苗	12	13	0	7.6%
その他	11	11	0	3.4%
合計	187	193	6	3.3%

(注) 1. セグメント別の主な取扱商品類

乳製品：乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等） 他

飲料・デザート類：飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート 他

飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他

その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他

2. セグメント別の売上高は外部顧客に対する金額を記載しております。

なお、前期比についても外部顧客に対する金額の比較によります。

④ 連結セグメント別の商品分野別売上高

【乳製品】

(単位：億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減	
	実績	実績	金額	対前期増減率
バター	223	221	△1	△0.6%
油	132	129	△2	△1.8%
チーズ	741	771	29	4.0%
上記以外	327	332	4	1.5%
個別計	1,425	1,456	31	2.2%
子会社等	898	941	42	4.7%
連結合計	2,323	2,397	73	3.2%

(注) 子会社等は、子会社の売上高および連結処理(グループ内相殺等)の合計を記載しております。

【乳製品のうち、ニュートリション事業】

(単位：億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減	
	実績	実績	金額	対前期増減率
機能性食品	33	43	9	28.2%
粉ミルク等	152	151	△1	△0.9%
連結合計	186	194	8	4.3%

(注) 連結ベース(グループ内相殺後)の内訳で記載しております。

【飲料・デザート類】

(単位：億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減	
	実績	実績	金額	対前期増減率
白物飲料	835	836	1	0.1%
色物飲料	448	440	△7	△1.7%
ヨーグルト	559	561	1	0.3%
デザート・生クリーム	247	244	△2	△1.2%
上記以外	39	35	△3	△9.8%
個別計	2,129	2,118	△11	△0.6%
子会社等	644	636	△8	△1.2%
連結合計	2,774	2,754	△19	△0.7%

(注) 子会社等は、子会社の売上高および連結処理(グループ内相殺等)の合計を記載しております。

【飼料・種苗】

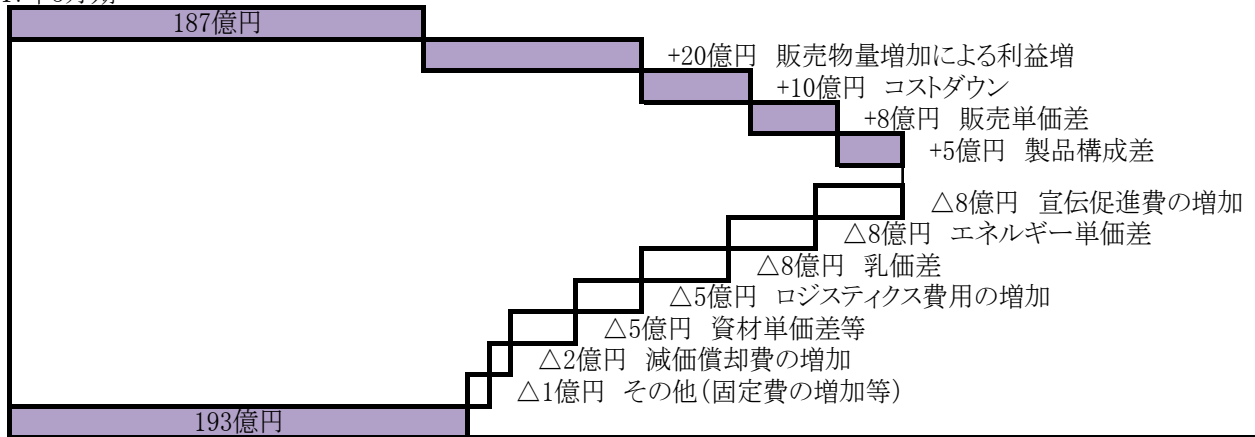
(単位：億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減	
	実績	実績	金額	対前期増減率
飼料	337	344	6	2.1%
種苗等	92	102	10	10.9%
連結合計	430	447	17	4.0%

(注) 連結ベース(グループ内相殺後)の内訳で記載しております。

⑤ 連結営業利益の増減要因

2017年3月期



2018年3月期

【連結セグメント別内訳】

(単位：億円)

区分	増減要因	合計	乳製品	飲料・デザート類	飼料・種苗	その他
増益要因	販売物量増加による利益増	20	18	△ 1	1	2
	コストダウン	10	10	0	0	0
	販売単価差	8	6	△ 1	4	△ 1
	製品構成差	5	1	4	0	0
	小計	43	35	2	5	1
減益要因	宣伝促進費の増加	△ 8	△ 17	9	0	0
	エネルギー単価差	△ 8	△ 5	△ 3	0	0
	乳価差	△ 8	△ 6	△ 2	0	0
	ロジスティクス費用の増加	△ 5	△ 1	△ 4	0	0
	資材単価差等	△ 5	△ 6	1	0	0
	減価償却費の増加	△ 2	0	0	0	△ 2
	その他(固定費の増加等)	△ 1	4	△ 2	△ 5	1
小計	△ 37	△ 31	△ 1	△ 5	△ 1	
合計	6	4	1	0	0	

※億円以下切捨て

⑥ 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2017年 3月期	2018年 3月期	増減
(流動資産)	1,386	1,465	78
現金及び預金	166	146	△20
売上債権	650	693	42
たな卸資産	484	539	54
繰延税金資産	45	43	△1
その他	39	42	3
(固定資産)	2,028	2,063	35
有形固定資産	1,645	1,647	1
無形固定資産	49	39	△10
投資有価証券	260	293	33
繰延税金資産	21	21	0
その他	51	62	10
資産 合計	3,415	3,529	113

	2017年 3月期	2018年 3月期	増減
(流動負債)	1,210	1,406	196
仕入債務	598	644	46
短期借入金	294	418	124
その他	317	343	25
(固定負債)	749	548	△200
長期借入金	473	270	△202
退職給付に係る負債	82	86	4
その他	194	191	△2
負債 合計	1,960	1,955	△4
株主資本等	1,431	1,550	118
非支配株主持分	23	23	0
純資産 合計	1,454	1,573	118
負債・純資産 合計	3,415	3,529	113

⑦ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減
	実績	実績	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	299	228	△71
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△144	△117	26
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△143	△129	14
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	11	△18	△30
VI 現金及び現金同等物の期首残高	147	159	11
VII 現金及び現金同等物の期末残高	159	140	△18
(参考) フリー・キャッシュ・フロー(I+II)	155	110	△45

⑧ 連結設備投資額(有形固定資産)及び連結減価償却費

(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費※
2017年3月期	147	151
2018年3月期	159	151

※ 減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(「のれん」を除く)および長期前払費用の償却費を加算したものとになります。

⑨ 連結研究開発費

(単位：億円)

2017年3月期	39
2018年3月期	43

⑩ 連結従業員数

2017年3月期	4,887名
2018年3月期	5,009名

⑪ 連結経営数値

(単位：%)

	自己資本比率	連結売上高 営業利益率	連結ROA (対営業利益)	EBITDA マージン
2017年3月期	41.9	3.2	5.5	5.8
2018年3月期	43.9	3.2	5.5	5.8

(単位：億円)

	総資産	自己資本	有利子負債※
2017年3月期	3,415	1,431	835
2018年3月期	3,529	1,550	750

※ 有利子負債残高は借入金残高にリース債務残高を加算したものとになります。

(2) 2018年3月期連結業績予想との比較(予想は2017年5月11日に公表したものです。)

① 連結経営成績

(単位：億円)

	2018年3月期				増減	
	予想	売上比	実績	売上比	金額	対予想 増減率
売上高	6,000	100.0%	5,961	100.0%	△38	△0.6%
営業利益	195	3.3%	193	3.2%	△1	△0.7%
経常利益	205	3.4%	209	3.5%	4	2.4%
親会社株主に帰属する 純利益	130	2.2%	133	2.2%	3	3.0%

② 連結セグメント別実績

(単位：億円)

	2018年3月期		増減	
	予想	実績	金額	対予想増減率
[売上高]				
乳製品	2,375	2,397	22	0.9%
飲料・デザート類	2,842	2,754	△87	△3.1%
飼料・種苗	421	447	26	6.2%
その他	362	361	△0	△0.0%
合計	6,000	5,961	△38	△0.6%
[営業利益]				
乳製品	112	121	9	8.3%
飲料・デザート類	61	47	△13	△21.9%
飼料・種苗	10	13	3	35.1%
その他	12	11	△0	△5.1%
合計	195	193	△1	△0.7%

(注) 1. セグメント別の主な取扱商品類

乳製品：乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等） 他

飲料・デザート類：飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート 他

飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他

その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他

2. セグメント別の売上高は外部顧客に対する金額を記載しております。

(3) 2019年3月期業績予想

① 連結業績

(単位：億円)

	第2四半期連結累計期間		通期	
	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率
売上高	3,080	1.5%	6,050	1.5%
営業利益	97	△12.4%	190	△1.9%
経常利益	100	△15.1%	200	△4.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	71	△1.2%	135	0.9%

② 連結セグメント別

(単位：億円)

	第2四半期連結累計期間		通期	
	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率
[売上高]				
乳製品	1,190	1.1%	2,440	1.8%
飲料・デザート類	1,470	2.1%	2,800	1.6%
飼料・種苗	235	△0.3%	440	△1.6%
その他	185	1.4%	370	2.2%
合計	3,080	1.5%	6,050	1.5%
[営業利益]				
乳製品	51	△9.8%	119	△1.9%
飲料・デザート類	28	△19.5%	49	2.9%
飼料・種苗	11	△18.8%	10	△26.0%
その他	7	32.3%	12	5.3%
合計	97	△12.4%	190	△1.9%

(注) セグメント別の売上高は外部顧客に対する金額を記載しております。

なお、前期比についても外部顧客に対する金額の比較によります。

③ 連結セグメント別の商品分野別売上高

【乳製品】

(単位：億円)

	第2四半期連結累計期間		通期	
	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率
バター	101	2.0%	222	0.3%
油脂	63	△0.0%	130	0.1%
チーズ	381	0.1%	781	1.3%
上記以外	151	△10.7%	311	△6.3%
個別計	699	△2.2%	1,445	△0.7%
子会社等	490	6.1%	994	5.6%
連結合計	1,190	1.1%	2,440	1.8%

(注) 子会社等は、子会社の売上高および連結処理(グループ内相殺等)の合計を記載しております。

【乳製品のうち、ニュートリション事業】

(単位：億円)

	第2四半期連結累計期間		通期	
	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率
機能性食品	25	19.0%	54	25.5%
粉ミルク等	81	7.8%	166	9.7%
連結合計	106	10.3%	220	13.2%

(注) 連結ベース(グループ内相殺後)の内訳で記載しております。

【飲料・デザート類】

(単位：億円)

	第2四半期連結累計期間		通期	
	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率
白物飲料	429	△0.4%	825	△1.3%
色物飲料	232	△5.7%	416	△5.4%
ヨーグルト	318	10.8%	630	12.3%
デザート・生クリーム	121	0.5%	250	2.7%
上記以外	17	5.0%	35	△0.6%
個別計	1,117	1.5%	2,159	1.9%
子会社等	352	4.0%	640	0.6%
連結合計	1,470	2.1%	2,800	1.6%

(注) 子会社等は、子会社の売上高および連結処理(グループ内相殺等)の合計を記載しております。

【飼料・種苗】

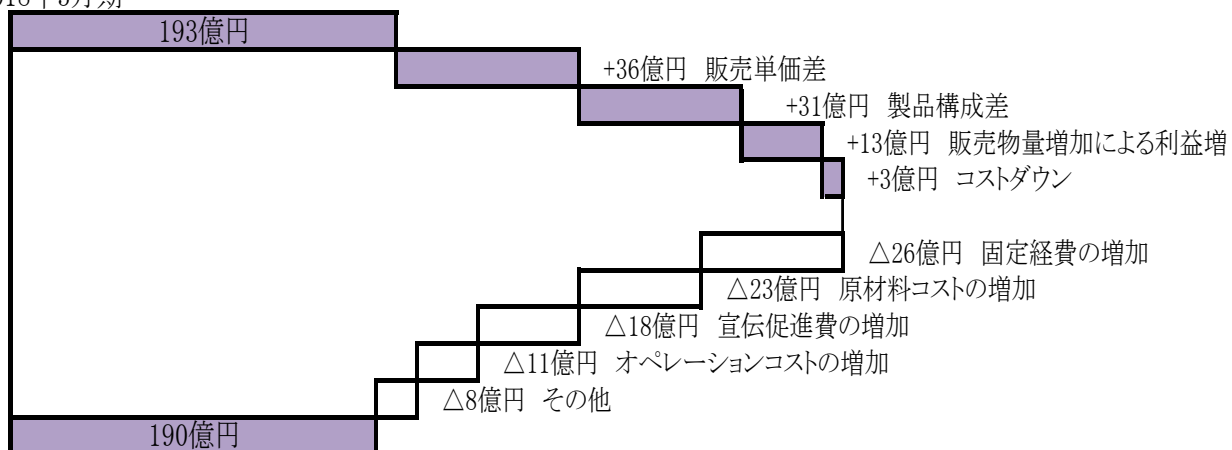
(単位：億円)

	第2四半期連結累計期間		通期	
	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率
飼料	167	△1.7%	339	△1.4%
種苗等	67	3.0%	100	△2.4%
連結合計	235	△0.3%	440	△1.6%

(注) 連結ベース(グループ内相殺後)の内訳で記載しております。

④連結営業利益の増減要因

2018年3月期



2019年3月期

【連結セグメント別内訳】

(単位：億円)

区分	増減要因	合計	乳製品	飲・デ	飼・種	その他
増益要因	販売単価差	36	35	0	0	1
	製品構成差	31	7	24	0	0
	販売物量増加による利益増	13	2	11	Δ 1	1
	コストダウン	3	1	2	0	0
	小計	83	45	37	Δ 1	2
減益要因	固定経費の増加	Δ 26	Δ 8	Δ 16	Δ 1	Δ 1
	原材料コストの増加	Δ 23	Δ 18	Δ 5	0	0
	宣伝促進費の増加	Δ 18	Δ 13	Δ 5	0	0
	オペレーションコストの増加	Δ 11	Δ 4	Δ 7	0	0
	その他	Δ 8	Δ 4	Δ 3	Δ 1	Δ 1
	小計	Δ 86	Δ 47	Δ 36	Δ 2	Δ 2
	合計	Δ 3	Δ 2	1	Δ 3	0

※億円以下切捨て

⑤ 連結設備投資額（有形固定資産）及び連結減価償却費

(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費※
2019年3月期	205	159

※ 減価償却費は有形固定資産、無形固定資産（「のれん」を除く）および長期前払費用の償却費を加算したのになります。

(4) 単体部門別売上高

(単位：億円)

	2017年3月期		2018年3月期		増減金額
	実績	対前期 増減率	実績	対前期 増減率	
乳製品	1,425	2.1%	1,456	2.2%	31
(内 バター)	223	△1.5%	221	△0.6%	△1
(内 油脂)	132	△7.0%	129	△1.8%	△2
(内 チーズ)	741	3.3%	771	4.0%	29
飲料・デザート類	2,129	1.3%	2,118	△0.6%	△11
(内 白物飲料)	835	0.6%	836	0.1%	1
(内 色物飲料)	448	2.0%	440	△1.7%	△7
(内 ヨーグルト)	559	3.0%	561	0.3%	1
(内 デザート・生クリーム)	247	△0.2%	244	△1.2%	△2
その他	20	1.9%	20	1.0%	0
合 計	3,575	1.6%	3,594	0.5%	19

(参考)2018年3月期シェア(家庭用)

	(変更後)	(変更前)
バター	32.8%	30.6%
油脂	37.2%	34.4%
チーズ	18.7%	15.1%
牛乳	7.2%	6.8%
乳飲料	20.9%	20.4%
ヨーグルト	11.0%	11.3%

出典：S C I (～70歳代)、全て金額ベース

(注)本短信での変更点

- ・調査対象「15～69歳」に「70～79歳」を加えました。
- ・乳製品を物量ベースから金額ベースに変更し、飲料・デザート類と統一しました。